

## 令和8年度 広島市中学校陸上競技選手権大会 要項

- 1 主催 広島市教育委員会・広島市中学校体育連盟・広島市陸上競技協会
- 2 主管 広島市中学校体育連盟陸上競技専門委員会
- 3 会期 令和8年6月6日(土)・7日(日) 開会式9:00~
- 4 会場 ホットスタッフフィールド広島 陸上競技場  
〒731-3167 広島市安佐南区大塚西五丁目1-1
- 5 競技種目 **【一部男子】17種目**  
 [1年生] 100m・1500m [2年生] 100m・1500m [3年生] 100m・1500m  
 [全学年] 400m R  
 [2・3年] 200m・400m・800m・3000m・110m H  
 走高跳・棒高跳・走幅跳・砲丸投(5.0kg)  
 四種競技[110mH・砲丸投(4.0kg)・走高跳・400m]
- 【一部女子】13種目**  
 [1年生] 100m・800m [2年生] 100m [3年生] 100m  
 [全学年] 400m R  
 [2・3年] 200m・800m・1500m・100m H・走高跳・走幅跳・砲丸投(2.72kg)  
 四種競技[100mH・走高跳・砲丸投(2.72kg)・200m]
- 【二部男子】7種目**  
 [全学年] 100m・1500m  
 [2・3年] 100m H・400m R・走高跳・走幅跳・砲丸投(4.0kg)
- 【二部女子】7種目**  
 [全学年] 100m・800m  
 [2・3年] 100m H・400m R・走高跳・走幅跳・砲丸投(2.72kg)

- 6 参加資格 (1) 広島市中学校体育連盟に加盟する中学校の生徒で、学校長が参加を認めた者。
- (2) 年齢は、平成23年4月2日以降に生まれた者に限る。
- (3) 前項以外の生徒が参加を希望する場合は、その年度の4月30日までに広島市中学校体育連盟に申し出ること。
- (4) 参加資格の特例
- ◎学校教育法第134条の各種学校在籍生徒  
 学校教育法第134条の各種学校(1条校以外)に在籍し、広島市中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
  - ◎地域クラブ活動に所属する中学生
    - ①地域クラブ活動に所属し、広島市中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
    - ②参加を希望する地域クラブ活動は以下の条件を具備すること。
- 1) 広島市中学校選手権大会の参加を認める条件
- ア 広島市中学校体育連盟の長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
  - イ 生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している(中学校に在籍している生徒であること)。
  - ウ 広島市下の中学校及び学校教育法第134条(1条校以外)に在籍している生徒であること。
  - エ 地域クラブ活動にあっては、日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに、適切に行われていること。
  - オ 『部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン』(令和7年12月文部科学省)を遵守していること。
  - カ 当該競技を管轄する中央競技団体もしくは都道府県競技団体に登録されていること。かつ同じ内容で広島県中学校体育連盟に認定されていること。

- キ 各郡市または各地区における予選となる全ての大会において、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力すること。
- ク 地域クラブ活動で広島市中学校選手権大会につながる大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様とする。
- ケ 冬季種目（駅伝、スキー、スケート）への出場を希望する者は、夏季種目とは別に登録することができる。
- コ 地域クラブ活動における5月2日以降の登録選手の追加は原則認めない。ただし、一家転居を事由とする場合のみ1)クに係わらず選手の追加登録を認める。
- 2) 広島市中学校選手権大会に参加した場合に守るべき条件
- ア 出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
- イ 広島市中学校選手権大会参加に際して、地域クラブ活動においては、責任ある代表者・指導者が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加算するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
- ウ 広島市中学校選手権大会開催に要する経費については、必要に応じて、応分の負担をすること。
- エ 団体競技における地域クラブ活動名での出場は1チームのみとする（複数のチームの参加はできない。）
- 3) 参加を認めない場合
- ア 広島市中学校選手権大会参加申込に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。
- イ 在籍生徒が県をまたぐことを原則認めない。
- ※ ただし、以下のすべてを満たす場合に限り特別に認める。
- ・生徒が在籍する学校に該当する部活動がない場合。
  - ・中国ブロック内の隣接する県である場合。
  - ・県内に『該当する地域クラブ活動がない』または、『地理的条件などにより、日常的に練習参加することが実質不可能である』場合。
- 4) 専門委員会参加規程細則
- 中体連主催の大会に参加を希望する地域クラブ活動は、「令和8年度全国中学校体育大会地域クラブ活動の参加資格の特例各競技細則」（陸上競技）（駅伝）（令和7年12月公益財団法人日本中学校体育連盟発出）に準ずる。
- (5) 引率・監督について
- ア 引率・監督は当該校（チーム）の校長・教員・部活動指導員※・地域クラブ活動の代表（指導者）とする。（※部活動指導員とは学校教育法施行規則第78条の2に示されている者とする）
- イ 学校運動部活動からの参加は、外部指導者をおくことができる。外部指導者は、出場校の校長が認めた者とし、所定の「外部指導者確認書（校長承認願）」を提出する。ただし、当該校以外の校長・教職員（一貫校および同一敷地内の系列校を除く小・中・高・高等専門学校を除く）は、外部指導者になれない。また、同一人が複数校の外部指導者にはなれない。
- ウ 学校運動部活動からの参加で、校長・教員・部活動指導員が引率できないと校長が判断した場合、校長が適切であると承認した外部指導者に引率及び監督の資格を認める。その際、「外部指導者確認書（校長承認願）」に必要事項を記載すること。
- (6) 大会に出場するチーム・選手の引率者・監督・部活動指導員・外部指導者・トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であること、地域クラブ活動の指導者においては、日本スポーツ協会公認指導者の処分等に該当していないものであることとしている。校長（代表者）はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。

- (7) 大会引率者の特例
- ① 広島市中学校体育連盟の引率者特例措置規程および細則にもとづき当該校の校長より申請され、広島市中学校体育連盟会長が参加を認めた保護者または地域のスポーツ指導者。地域のスポーツ指導者には監督の資格を認める。
  - ② 参加を希望する学校は広島市中学校体育連盟の引率特例措置規程および細則を遵守すること。
  - ③ 事前の監督会議への出席や参加申し込みは各団体が責任を持って行う。
- (8) 令和8年度日本陸上競技連盟並びに広島陸上競技協会登録選手であること。
- (9) 広島市中学校体育連盟拠点校部活動参加規程に基づき、拠点校で活動している生徒は参加することができる。
- (10) 重複出場の条件を満たしていること。

## 7 参加制限

- (1) 一部種目のエントリーについて
- ・各種目とも正選手は、一団体2名（補員は1名）エントリー可能。
  - ・一人2種目（リレーを除く）までエントリーできる。
  - ・リレーは、一団体1チームとし、1年生のエントリーも可能。（補員は2名）
  - ・四種競技は一団体2名（補員は1名）エントリーすることができる。
  - ・棒高跳は、一団体の出場人数の制限をしない。ただし、得点対象生徒2名をあらかじめ決め、申込一覧表の該当する選手名を赤で囲んでおく。
- (2) 二部種目のエントリーについて
- ・二部の各種目にエントリーする場合、一部の同様な種目に必ず2名エントリーしていなければならない。
  - ※同様の種目は「5 種目」の下線で示した種目とする。
  - ・二部は一人1種目（リレーを除く）のみエントリーできる。
  - ・一部と二部の両方のエントリーはできない。
  - ・二部の各種目に出場人数の制限はない。ただしリレーは一団体1チームとする。
  - ・補員についてはリレーのみで、2名までとする。
- (3) 1年生種目のエントリーについて
- ・一部は、上記「5 種目」に記載されている1年生種目および、全学年400mRにエントリーすることができる。
  - ・二部は、男女100m、男子1500m、女子800mのみエントリーができるが、一部1年生種目と同種目に2名エントリーされていなければならない。
- (4) その他
- ・一部と二部の両方に正選手として、出場することはできない。

## 8 競技規定

- (1) 2026年度日本陸上競技連盟競技規則と大会要項、大会規則及び注意事項により運営する。
- (2) 一部のトラック競技の予選は、タイム予選とし、上位8名が決勝に進出する。一部男女800mは15名、2・3年男子1500mは16名の着順取りとし、決勝に進出する。1年男子1500m、1年女子800m、2・3年女子1500m、男子3000mはタイム決勝とする。
- (3) 二部のトラック競技はすべてタイム決勝とし、同じくフィールド競技の走幅跳・砲丸投の試技は3回とする。
- (4) トラック種目において同タイムの場合は、千分の一までの着差を判定し、それでも同タイムの場合には、抽選により決勝進出者を決定する。  
抽選を行う際、アナウンス後15分経過しても来ない場合には出場する意志がないものとして、残りの選手で抽選を行う。
- (5) ハードルの高さ・インターバルは、次の通りとする。
- |         |           |        |       |   |      |   |       |
|---------|-----------|--------|-------|---|------|---|-------|
| 男子110mH | 高さ 91.4cm | インターバル | 13m72 | — | 9m14 | — | 14m02 |
| 男子100mH | 高さ 83.8cm | インターバル | 13m00 | — | 8m50 | — | 10m50 |
| 女子100mH | 高さ 76.2cm | インターバル | 13m00 | — | 8m00 | — | 15m00 |

- (6) 全競技者は、シューズの厚さを厳守すること。(20mm以内)参加前に各チームで確認すること。

- 9 大会負担金 登録選手（補員を含む）1人につき100円とし、監督会議で徴収する。
- 10 表彰 (1) 一部は8位、二部は3位までに賞状を授与。  
(2) 一部(1年生種目を除く)は団体対抗。  
得点は、一部種目(1年生種目を除く)の1位8点、2位7点、3位6点、…8位1点とし、その合計点により男女各6位までを表彰する。ただし、同点の場合は、上位入賞者の多い団体を上位順位とする。棒高跳は、入賞者のうち参加各団体の指定競技者(申込一覧表の正選手2名以内)の得点を加算する。
- 11 申込規程 以下の書類等を監督会議に持参する。  
①申込一覧表  
②個票(切り離し、一部男子は黒、一部女子は赤、二部男子は青、二部女子は黄色で上部をぬる。必ず記録も記入する。)  
③大会負担金(納入書は必要なし)  
④地域クラブ活動用申込書(地域クラブ活動のみ)
- 12 監督会議
- (1) 期 日 令和8年5月11日(月)13:30~  
(2) 会 場 ホットスタッフフィールド広島 競技運営室  
〒731-3167 広島市安佐南区大塚西五丁目1-1  
(3) 引率者の特例で参加する学校も各学校(校長か教員・部活動指導員)が責任を持って出席する  
(4) 内 容 市選手権大会運営・規則及び注意事項等の確認・プログラム編成作業  
その他  
※選手登録の方法と、提出期限・提出先については、4月の全体顧問会議(第1回陸上競技専門委員会)で連絡します。
- 13 参加上の注意事項 (1) 団体受付・選手変更は、必ず引率教員が行うこと。また、引率者の特例による参校は引率者が行うこと。欠場・選手変更用紙は団体受付の所へ提出すること。  
両日とも 団体受付 8:00~8:20  
選手変更 8:25終了(以後は受け付けない)  
欠場についても選手変更用紙に記入し提出する。  
全体打ち合わせ 8:30~  
※閉会式終了後反省会があります。各団体1名必ず参加してください。  
(2) リレーにおいて大会当日、記載選手以外が出場する場合、オーダー用紙にプログラム記載ページを記入し提出する。  
(3)トラック及びフィールド内には、出場選手・役員並びに生徒役員以外は絶対に立ち入らない。所定の場所で応援し大会運営に支障をきたすことのないよう注意する。
- 14 その他 (1) 全体顧問会議 4月17日(金)15:00~ホットスタッフフィールド広島  
選手登録、年間競技日程、市大会運営要領等の確認があるので各団体(引率特例の学校も含む)必ず出席する。  
(2) 本大会は、広島県中学校陸上競技選手権大会予選とする。  
(3) 出場団体には生徒役員及び清掃等の分担があるので、各団体責任をもって行う。  
(4) 個人情報のうち、大会運営上必要である選手名、学年、所属(競技の特性上必要なもの)について公開します。また、報道機関に記録の提供を求められた際には記録を提供します。参加団体にあっては、その旨を承諾のうえ、参加申し込みを行うこと。  
(5) 陸上競技常任委員会 8月3日(月)15:00~ホットスタッフフィールド広島(会議室1) 選手権の反省、来年度の要項確認、計測ラインの見直し等。常任委員会参加該当者には後日案内を送付します。

# 令和8年度 広島市中学校陸上競技選手権大会 競技順序

・開会式 9:00～

6月6日(土) トラック競技					
順序	種目	ラウンド	競技開始	招集時間	
		予選 決勝		招集開始	招集完了
1	一部 2.3年男 3000m				
2	一部 2.3年女 1500m				
3	一部 2.3年男四種 110m H				
4	一部 2.3年女四種 100m H				
5	一部 2.3年男 400m				
6	一部 2.3年女 200m				
7	2年 男 100m				
8	3年 男 100m				
9	二部 全学年女 100m				
10	一部 2.3年男 800m				
11	一部 2.3年女 800m				
12	一部 2.3年男 400m	◎			
13	一部 2.3年女 200m	◎			
14	2年 男 100m	◎			
15	3年 男 100m	◎			
16	3年 男 1500m				
17	2年 男 1500m				
18	一部 全学年女 400m R				
19	一部 全学年男 400m R				
補助競技場					
順序	種目	ラウンド	競技開始	招集時間	
		予選 決勝		招集開始	招集完了
1	1年 男 1500m				
2	二部 全学年男 1500m				
3	1年 女 800m				
4	二部 全学年女 800m				
終了					

6月7日(日) トラック競技					
順序	種目	ラウンド	競技開始	招集時間	
		予選 決勝		招集開始	招集完了
1	一部 2.3年男 110m H				
2	一部 2.3年女 100m H				
3	一部 2.3年男 200m				
4	1年 女 100m				
5	1年 男 100m				
6	2年 女 100m				
7	3年 女 100m				
8	二部 全学年男 100m				
9	一部 2.3年男 800m	◎			
10	一部 2.3年女 800m	◎			
11	一部 2.3年女 100m H	◎			
12	一部 2.3年男 110m H	◎			
13	一部 2.3年男 200m	◎			
14	1年 女 100m	◎			
15	1年 男 100m	◎			
16	2年 女 100m	◎			
17	3年 女 100m	◎			
18	一部 2.3年女四種 200m				
19	一部 2.3年男四種 400m				
20	2年 男 1500m	◎			
21	3年 男 1500m	◎			
22	二部 2.3年女 400m R				
23	二部 2.3年男 400m R				
24	一部 全学年女 400m R	◎			
25	一部 全学年男 400m R	◎			
終了					

フィールド競技					
順序	跳躍種目	ラウンド	競技開始	招集時間	
		決勝		招集開始	招集完了
1	一部 2.3年男 走高跳				
2	一部 2.3年女 走幅跳				
3	一部 2.3年男 棒高跳				
4	一部 2.3年女四種 走高跳				
5	二部 2.3年男女 走幅跳				
6	二部 2.3年男女 走高跳				
順序	投てき種目	ラウンド	競技開始	招集時間	
		決勝		招集開始	招集完了
1	一部 2.3年女 砲丸投				
2	一部 2.3年男四種 砲丸投				
3	二部 2.3年男女 砲丸投				
終了					

フィールド競技					
順序	跳躍種目	ラウンド	競技開始	招集時間	
		決勝		招集開始	招集完了
1	一部 2.3年男四種 走高跳				
2	一部 2.3年男 走幅跳				
3	一部 2.3年女 走高跳				
順序	投てき種目	ラウンド	競技開始	招集時間	
		決勝		招集開始	招集完了
1	一部 2.3年女四種 砲丸投				
2	一部 2.3年男 砲丸投				
終了					

・閉会式

※リレーはオーダー用紙を招集完了1時間前までに招集場に提出すること。

※監督会議 2日目閉会式終了の20分後 (予定)

# 令和8年度 広島市中学校陸上競技選手権大会 規則及び注意事項

- 1 2026年度日本陸上競技連盟競技規則と大会要項、大会申し合せ事項により運営する。
- 2 2026年度ルールを適応し、不正出発をした選手は失格となる。
- 3 一部のトラック競技の予選は、タイム予選とし上位8名が決勝に進出する。ただし、一部男女800mは15名、2・3年男子1500mは16名の着順取りとし、決勝に進出するものとする。なお、1年男子1500m、1年女子800m、2・3年女子1500mは、男子3000mタイム決勝とする。
- 4 決勝進出者のレーンについては、番組編成時に本部で決定する。
- 5 二部のトラック競技はすべてタイム決勝とし、同じくフィールド競技の走幅跳・砲丸投の試技は3回とする。
- 6 トラック種目において同タイムの場合は、千分の一までの着差を判定し、それでも同タイムの場合には、抽選により決勝進出者を決定する。抽選を行う際、選手の呼び出しをアナウンスするが、アナウンス後15分経過しても来ない場合には出場する意志がないものとして、残りの選手で抽選を行う。
- 7 セパレートレーンでの競技の際は、接触事故防止のために、ゴール後はレーンに沿ってカーブする。
- 8 男女800mのスタート方法は、第2レーンより1レーン2人制とし、第2コーナー出口までをセパレートとする。また、男子3000mについては、人数により2段階スタートを行う。  
(補助競技場で行う長距離種目のスタート方法はオープンレーンとする。)
- 9 競技に使用するスパイクのピンは、全天候型で長さは9mm(走高跳は12mm)を超えてはならない。
- 10 日本陸上競技連盟競技規則第143条5靴底と踵の厚さ規定に基づき、不正シューズで出走した選手は失格とする。  
**全競技者は、シューズの厚さを厳守すること。(20mm以内)参加前に各チームで確認すること。**
- 11 選手は、胸・背部に団体名入りアスリートビブス(24cm×16cmを標準:以下団体ビブス)を正しくつける。  
走高跳・走幅跳・棒高跳については、胸・背部のどちらかだけでもよい。  
団体ビブスのない者は出場できない。長距離種目については、別にアスリートビブスを渡す。また、トラック競技の出場者(リレーはアンカーのみ)には腰ナンバー標識を渡すので右腰に正しくつける。(安全ピンを各自12本準備する)  
○中長距離種目の選手については、次のようにアスリートビブスをつける。  
「800mは、胸も背中も団体ビブス」  
「1500mは、胸がアスリートビブス、背中は団体ビブス」  
「3000mは、胸も背中もアスリートビブス」※競技運営上、変更もありうるので、それぞれ団体ビブスを準備しておく。
- 12 走高跳やりレーで使用使用するポイントマーク用のテープは各団体で準備しておく。競技が終わった選手は、自分のマーク、またはチームが貼ったマークを取り除く。
- 13 競技終了後の選手は、定められた通路を通って戻る。(正面スタンド前を通らない)
- 14 練習は、事前の申し合わせに従って補助競技場で行う。  
ただし、補助競技場を使って練習ができない時間帯は、審判員の指示に従うこと。  
①補助競技場のフィールド内の芝生には入らない。(練習に利用できません)  
②補助競技場内での投てき練習は禁止。(メデイシンボールも不可)  
③補助競技場トラックのレーン使用は次のように割り振る。
  - ・1～2レーン＝中長距離用周回レーン
  - ・3～6レーン＝高速レーン(短距離やバトン練習等)※ホームストレート側の5～8レーンは時間帯によりハードル練習レーンとしフレキハードルを設置。  
(男女各2レーン、5台ずつ設置。それぞれインターバルを変えた練習レーン。)  
※雨天練習場は使用しない。しかし、運営側から使用許可の指示が出たら使用することができる。
- 15 トラック及びフィールド内には、出場選手・役員並びに生徒役員以外は絶対に立ち入らない。所定の場所で応援し、大会運営に支障をきたすことのないよう注意する。  
※競技運営室及び本部前の通路は、原則、選手は通過しない。
- 16 招集について  
①招集は第4コーナー入口の招集所で行う。ユニフォーム・団体ビブス・スパイクなどを持参し競技ができる準備をして受ける。  
②招集所では、プログラムに記載されている**招集完了時刻の10分前から点呼を始める**。  
③点呼を受けた選手は係の誘導で競技場内に入る。  
④招集完了時刻は、次の表の通りとする。(プログラム参照)

- ⑤招集を受けていない選手、招集完了時刻に遅れた選手は出場できない。また、二種目を兼ねて出場する選手で招集時刻等が重なる場合は、その旨を招集所の競技者係に申し出て許可を得る。その際に「多種目同時出場届」をできる限り提出しておくことが望ましい。(届け用紙は、当日、受付や招集所にも準備をする。)

招 集 完 了 時 刻		
トラック競技	予選・決勝	競技開始20分前まで
	リレー	①予選・決勝とも、事前に招集所でオーダー用紙を受け取る ②オーダーを記入し監督のサインを添えて、 1組目の招集完了1時間前までに招集所に提出する ③競技開始20分前までに招集を受ける
フィールド競技	棒高跳	競技開始50分前まで
	走幅跳	競技開始40分前まで
	走高跳 砲丸投	競技開始30分前まで
四種競技	上記トラック・フィールド競技の招集時間に準じて四種目とも行う。	

- 17 各種目の計測ラインを次のように定める。ただし、走幅跳・砲丸投は計測ライン以下でも1回は計測する。

一 部	走高跳	(男子) 1m30 35 40 45 50 55 60 65 68【以後3cmずつ】 (女子) 1m15 20 25 30 35 40 43【以後3cmずつ】
	棒高跳	2m00 20 40 60 70【以後10cmずつ】
	走幅跳	(男子) 4m50 (女子) 3m50
	砲丸投	(男子) なし (女子) なし
	四種競技	(男子) 1m25 30 35 40 45 48【以後3cmずつ】
	走高跳	(女子) 1m10 15 20 25 28【以後3cmずつ】

○二部の計測ラインはなし。

○一部男子砲丸投の重量は5kg、女子砲丸投の重量は、2.72kg。

○男子四種競技と二部男子砲丸投の重量は4kg。

- 18 ハードルの高さ・インターバルは、次の通りとする。

男子110mH 高さ 91.4cm インターバル 13m72 - 9m14 - 14m02

男子100mH 高さ 83.8cm インターバル 13m00 - 8m50 - 10m50

女子100mH 高さ 76.2cm インターバル 13m00 - 8m00 - 15m00

- 19 一部は8位、二部は3位までに賞状を授与する。

- 20 一部(1年生種目を除く)は学校対抗とする。得点は、一部種目(1年生種目は除く)の1位8点、2位7点、3位6点…8位1点とし、その合計点により男女各6位までを表彰する。ただし、同点の場合は、上位入賞者の多い団体を上位順位とする。棒高跳は、入賞者のうち参加各団体の指定競技者(申込一覧表の正選手2名以内)の得点を加算する。

- 21 団体受付・選手変更は、必ずその団体の引率者が行うこと。また、引率者の特例による参加校は引率者が行う。欠場・選手変更用紙は団体受付の所へ提出すること。

両日とも学校受付 8:00~8:20完了

選手変更 8:25終了 欠場についても選手変更用紙に記入し提出する(以後は受け付けない)

全体打ち合わせ 8:30~ ※閉会式終了後反省会があります。各団体1名必ず参加してください。

- 22 出場校には、生徒役員及び清掃等の分担があるので、各団体責任を持って行う。

- 23 ゴミは各自持ち帰るか所定のゴミコンテナに捨てる。

- 24 自動販売機及び売店の利用を禁止。飲料水は、各自が事前に準備し持ってくる。

- 25 携帯電話等を持ち込まないこと。

- 26 応援のみの生徒も私服では来ない。

- 27 本大会は、広島県中学校陸上競技選手権大会予選会とする。

《出場資格》○一部各種目入賞者上位8名(リレーは8チーム)→市代表

入賞者が8名を越えている場合、下位の同順位の選手で抽選をし、代表を決定する。決勝において安易な棄権はしないこと。

○3月21日(土)~6月7日(日)の公式競技会において別紙標準記録を突破した者も参加できる。県選手権大会出場人数を大会終了後の監督会議において確認するので入賞者、標準記録突破者を確認しておくこと。